



地域で暮らす住民の健康状態を総合的にアセスメントできることを目指し、住民の方を対象とした健康測定とヘルスインタビューを行いました。

- 実施機関: 6月3日～7月31日(全12回)
- 実施場所: 竜が台地域福祉センター、菅の台地域福祉センター
- 学生7～8名が訪問し、健康測定とヘルスインタビューを実施しました

竜が台・菅の台両地区で概ね130名、延べ240名の方にご参加いただきました。

呼吸・循環器系

- 6月3日、6月24日、6月26日、7月17日、7月31日
- 呼吸・脈拍・血圧・酸素飽和度・下肢循環状態

栄養系

- 6月17日・7月1日・7月24日
- 身長・体重・腹囲・体格指数・体脂肪率

筋骨格系

- 6月19日・7月15日・7月22日・7月29日
- 握力・骨密度・関節可動域

青字は菅の台地区



学生の感想

- ・学生同士のとときと異なり、初対面の人とのコミュニケーションのとり方、計測値の伝え方が難しかった。
- ・質問に対し、もっと答えられるように勉強したい。地域の方から逆に学ばせていただいた。
- ・「いつもより血圧値が高い」という人がいた。自分の緊張が体に触れる手を通して(対象者に)伝わってしまったと思う。もっと練習したい。
- ・緊張して血圧も脈拍もうまく計測できなかったが、住民の方が優しく待ってくださった。
- ・計測では自分の未熟さがわかった。練習が必要だと感じた。
- ・測定値が標準の場合はいいが、そうではない場合、「気にされてはいけない」と思い、どういうふうに伝えればいいのか難しかった。
- ・学内演習では測定値が基準値内かどうかだけみていたが、住民の方の「少し多いね・・・」という心配そうな声を聞き、基準値との違いをみつけるだけでなく、どのように伝え、アドバイスをするのか考えていきたいと思った。
- ・インタビューで「健康です」「よく睡眠をとっています」と言った人が、後で実は睡眠剤を飲んでいたことがわかった。はじめに聞いた情報より、ゆっくり話を聞く中でわかることがあると思った。





ご協力くださった民生児童委員の皆様、ボランティアの皆様、ありがとうございました



おかげさまで、よい経験、よい学びの機会になりました。

